

---

## 田中電子工業、台湾に生産子会社を設立 2月1日より銅製ボンディングワイヤを製造開始

～世界4拠点の生産体制を確立、BCPも強化～

---

TANAKA ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡本英彌）は、ボンディングワイヤ（配線材）製造で世界トップシェアを誇る、田中貴金属グループの田中電子工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：笠原康志）が、台湾に銅製ボンディングワイヤ（以下、銅製ワイヤ）を製造する生産子会社を設立し、2月1日から製造を開始することを発表します。

台湾・桃園県中レキ市に生産拠点を設立する新会社「台湾田中電子股份有限公司（以下、台湾田中電子）」は、資本金が2億8,500万台湾ドル（約7億3,000万円）で、田中電子工業としては、日本とシンガポール、中国（杭州）に続く4番目の銅製ワイヤの生産拠点です。銅製ワイヤの需要が急速に拡大する台湾市場において、「サブコン（半導体組み立て工程の受託会社）」など半導体メーカーとの取引を拡大し、2014年までに月間1億メートルの出荷量を目指します。

金相場が高値圏で推移している中、半導体の集積回路と外部電極をつなぐボンディングワイヤは、これまで広く使用されてきた金製ワイヤから低コストな銅製ワイヤへ本格的に代替が進んでいます。ボンディングワイヤは現在、世界で月間約10億メートルが製造されていると推測されています。このうち銅製ワイヤについては、アジア新興国を中心に2010年より金製ワイヤからの代替が加速し始め、現在すでにボンディングワイヤ全体の20%程度を占めており、2013年には40%程度にまで拡大する可能性があります。

田中電子工業では、銅製ワイヤの需要に合わせて、これまで中国やシンガポールに生産拠点を設立してきました。台湾ではこれまで、製品販売やテクニカルサポートの機能のみを設置し、日本やシンガポールで製造したボンディングワイヤを台湾の顧客へ提供しておりました。このたび、台湾において銅製ワイヤへの代替が本格的に加速していることに伴い、更なる販路拡大が見込めると判断し、台湾田中電子を設立します。これにより現地顧客に根差したスピーディーな製品の供給体制を確立できるほか、サプライチェーン（供給網）へのリスク分散として、自然災害や社会インフラの障害といった非常事態に対するBCP（事業継続計画）も強化することができます。

田中電子工業は、ボンディングワイヤ全体および金製ワイヤにおいて世界トップシェアを占めています。今後は、台湾田中電子の設立を通じて、銅製ワイヤのシェア拡大を図り、2014年までには銅製ワイヤについても世界トップシェアを獲得することを目指します。



田中電子工業の銅製ワイヤ

## <台湾田中電子の概要>

会 社 名：台湾田中電子股份有限公司

TANAKA ELECTRONICS TAIWAN CO., LTD

代 表：代表取締役社長 石井光吉

拠点所在地：台湾・桃園県中レキ市（本社登記は台湾・台北市）

生産開始：2012年2月

資 本 金：2億8,500万台湾ドル（約7億3,000万円）

電 話 番 号：+886-3-434-0700

事 業 内 容：銅製ボンディングワイヤの製造

## ■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885年

設立：1918年

資本金：5億円

グループ連結従業員数：3,456名（2010年度）

グループ連結売上高：8,910億円（2010年度）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀 ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（工業製品）

## ■田中電子工業株式会社について

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 笠原 康志

設立：1961年

資本金：18億8千万円

従業員数：124名（2010年度）

売上高：363億7千万円（2010年度）

事業内容：高純度各種ボンディングワイヤの製造（金、金合金、アルミ、アルミシリコン、銅ほか）

HP アドレス：<http://www.tanaka-bondingwire.com>

## <田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディーな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。田中貴金属グループの中核8社は以下の通りです。

- ・TANAKA ホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中貴金属販売株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社